

平成 28 年 度

県 政 世 論 調 査

結 果 報 告 書

〈概要版〉

平成 29 年 1 月

福 島 県

目次

	頁
I 調査の概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査実施概要	1
3. 調査項目	1
4. 回答者の構成	2
II 調査結果の解説	
1. 復興に関する情報発信について	5
(1) 震災・原発事故や復興について知りたい情報	5
(2) 復興が進んでいると感じる情報	6
(3) 復興状況に関する情報の入手先	7
(4) 県の広報活動の満足度	8
(5) 県外に発信すべき内容	10
2. 農林水産業について	11
(1) 農林水産物の購入や食生活で実践しているまたは実践したいこと	11
(2) 農山漁村の役割として期待すること	12
(3) 全国植樹祭を知ったきっかけ	13
(4) 興味がある森林活動	14
3. 生物多様性について	15
(1) 『生物多様性』について	15
(2) 自然環境の変化について	16
(3) 生物多様性の保全と復旧・復興への取り組みについて	17
(4) 生物多様性の保全のために重要だと思うこと	18
(5) 生物多様性に配慮したライフスタイルについて	19
4. 高校教育について	20
(1) 選択したい学科	20
(2) 高等学校選択の際の重視点	22
(3) 定時制高等学校の必要性	23
(4) 中高一貫教育校の必要性	24
(5) 一番必要な中高一貫教育校の形態	25
(6) 中高一貫教育校で重視した方がよいこと	26

	頁
5. 地域社会の安全・安心（治安）について.....	27
(1) 現在の治安状況.....	27
(2) 治安状況が良いと思う理由.....	28
(3) 治安状況が悪いと思う理由.....	29
(4) 犯罪の発生状況や防止方法等の情報の提供手段.....	30
(5) 犯罪に関して知りたい情報.....	31
(6) 警察に強化してほしい活動.....	32
(7) 重点的に取り締まってほしい犯罪.....	34
(8) 身近に感じる不安.....	36
6. 安全で安心な県づくりについて.....	37
(1) 安全・安心の現状.....	37
7. 県総合計画について.....	39
(1) 福島県の現状.....	39

Ⅲ 調査票様式

Ⅳ 過去に実施した県政世論調査項目一覧

●本報告書利用にあたっての注意点

1. 本文及び図表中の回答者の割合は百分比（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入してある。
したがって、四捨五入の結果、個々の比率の合計が100％にならないことがある。また、複数回答の質問では、比率の合計は100％を超えることがある。
2. 図表中の「n」は回答者総数（該当者への質問の場合は該当者数）のことで、100％が何人に相当するかを示す、比率算出の基数である。

I 調査の概要

1. 調査の目的

県政の課題等について県民の意識やニーズを調査し、具体的な政策形成等の基礎的な資料とする。

2. 調査実施概要

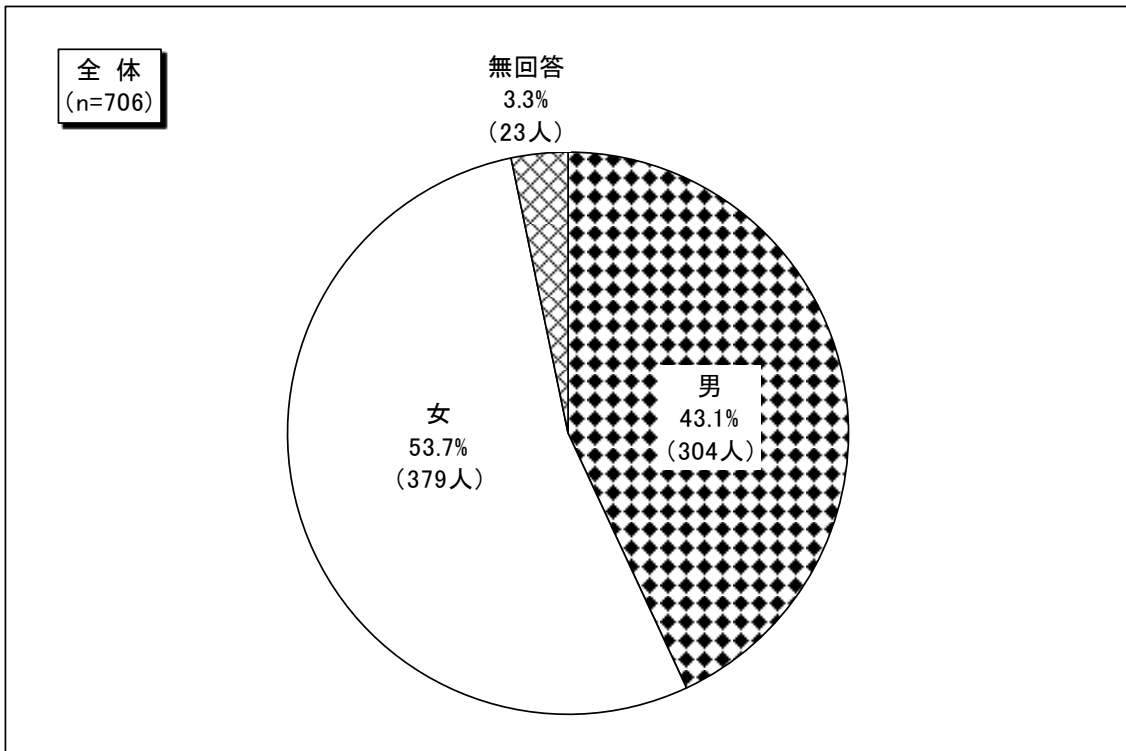
- | | |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 調査地域 | 福島県全域（28市町村を抽出） |
| (2) 調査対象 | 満15歳以上の男女個人 |
| (3) 標本数 | 1,300（人） |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出
第1次抽出：「県北」「県中」「県南」「会津」「南会津」「相双」「いわき」の県内7地域をそれぞれ「総人口10万人以上の市」「総人口10万人未満の市」「郡部（町村）」の3グループに分け、各グループを1つの層とした。
各層の市町村別人口累積表により、等間隔に調査地点（市町村及び町丁・大字）を設定した。
第2次抽出：第1次抽出で得られた調査地点の住民基本台帳から、条件にあてはまる調査対象者個人を系統抽出した。 |
| (5) 調査方法 | 郵送調査（自記式アンケート） |
| (6) 調査期間 | 平成28年10月11日～10月25日 |
| (7) 回収結果 | 有効回収数706（有効回収率54.3%） |

3. 調査項目

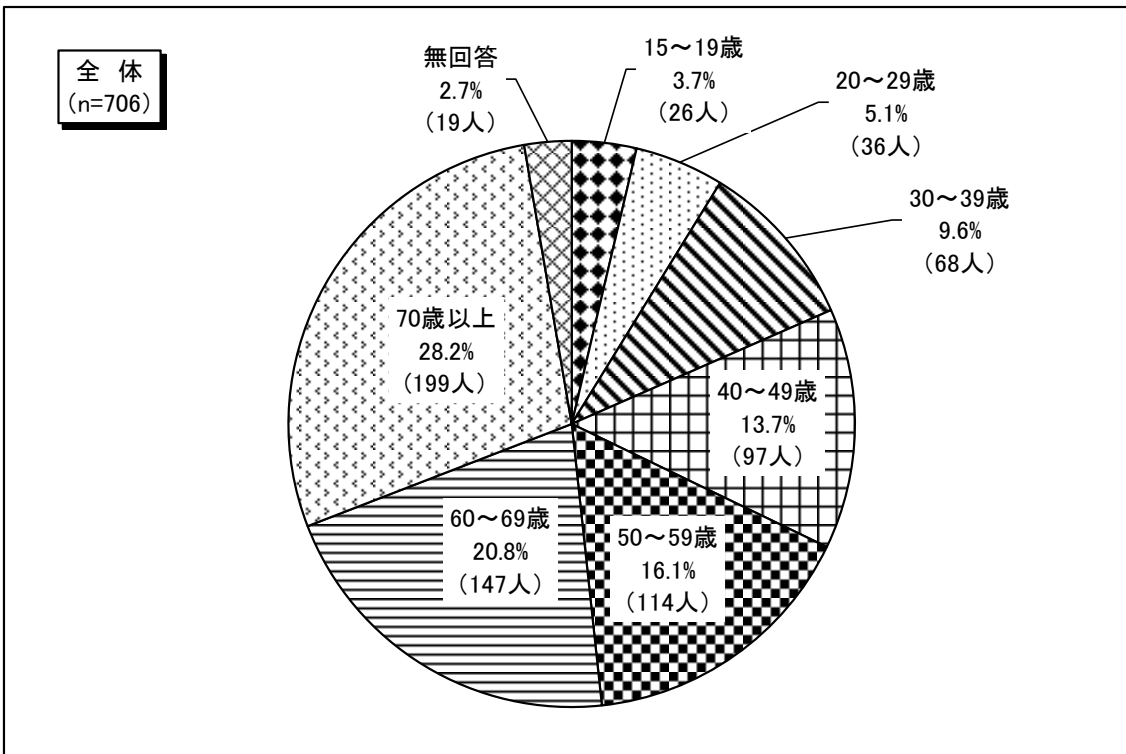
- (1) 『復興に関する情報発信』について
- (2) 『農林水産業』について
- (3) 『生物多様性』について
- (4) 『高校教育』について
- (5) 『地域社会の安全・安心（治安）』について
- (6) 『安全で安心な県づくり』について
- (7) 『県総合計画』について

4. 回答者の構成

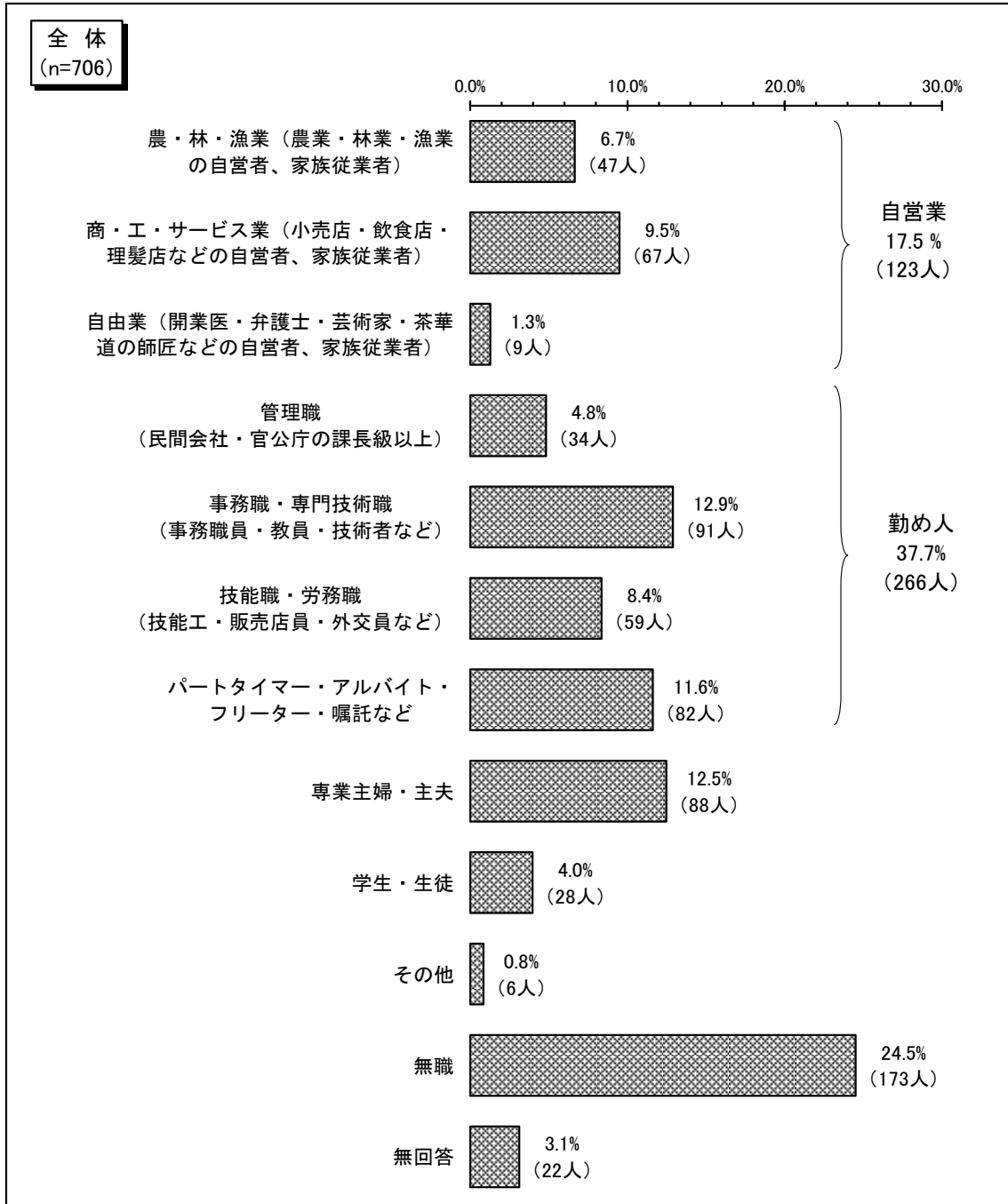
(1) 性別



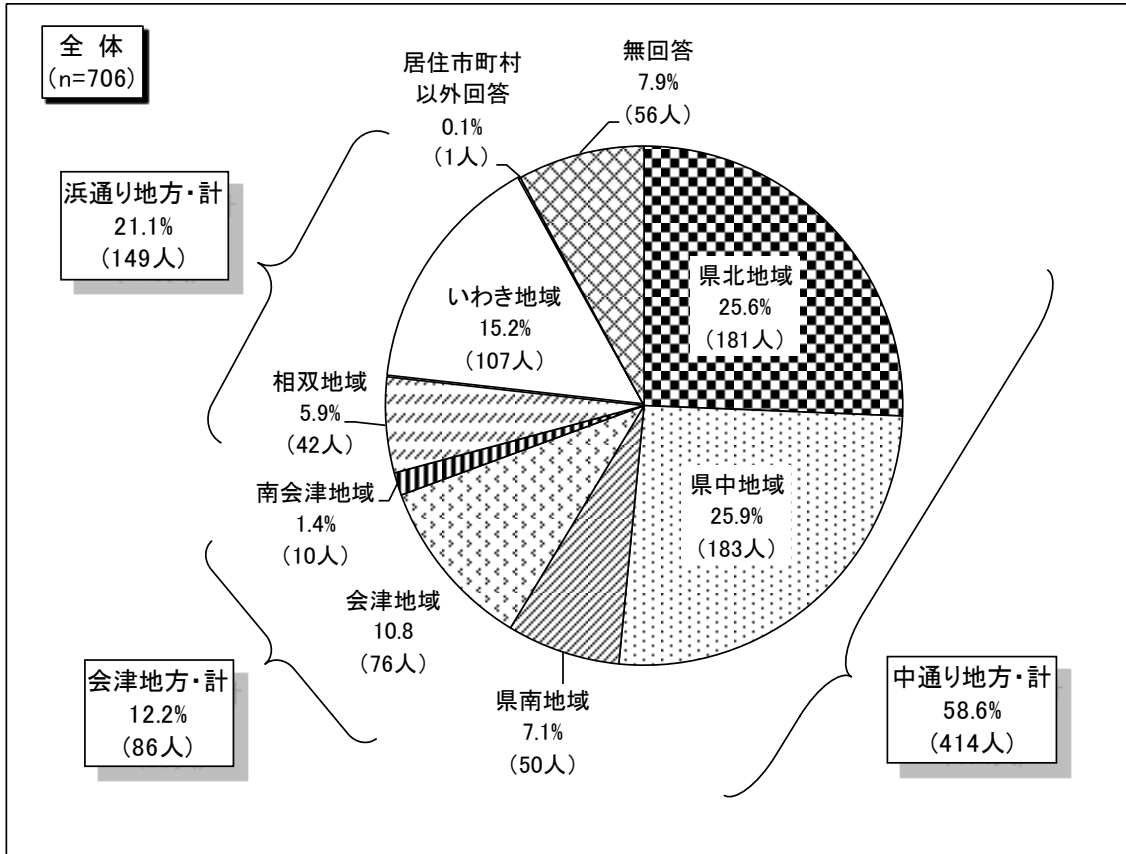
(2) 年齢



(3) 職業



(4) 居住地域



市町村別回答者数

		市町村名	回答者数 (人)	構成比 (%)
中通り 地方	県北地域	福島市	103	14.6
		二本松市	25	3.5
		伊達市	23	3.3
		本宮市	13	1.8
		国見町	12	1.7
		大玉村	5	0.7
		郡山市	112	15.9
	県中地域	須賀川市	23	3.3
		田村市	13	1.8
		鏡石町	10	1.4
		石川町	10	1.4
		三春町	15	2.1
		白河市	18	2.5
	県南地域	泉崎村	13	1.8
棚倉町		9	1.3	
鮫川村		10	1.4	

		市町村名	回答者数 (人)	構成比 (%)
会津 地方	会津地域	会津若松市	41	5.8
		喜多方市	10	1.4
		西会津町	6	0.8
		会津坂下町	11	1.6
		会津美里町	8	1.1
		A 下郷町	10	1.4
浜 通り 地方	相 双 地 域	相馬市	12	1.7
		南相馬市	15	2.1
		富岡町	4	0.6
		双葉町	3	0.4
		新地町	8	1.1
	B いわき市	107	15.2	
		居住市町村以外回答	1	0.1
		居住市町村別無回答	56	7.9
		全 体	706	100.0

A 南会津地域

B いわき地域

※居住市町村は平成27年6月1日現在の住民基本台帳による